

尾張地域

イカダ遊び

尾張西地区 稲沢第9団 カブ隊長 今井啓之

9月6日(日)岐阜県揖斐川支流粕川で稲沢9団・10団合同隊でイカダ遊びを行いました。コロナ禍の中で、スカウトが参加してくれるかなど、色々心配は有りましたが、指導者と保護者の協力と理解のもと活動を成功させることが出来ました。イカダ作りでは、蜜と暑さ防止のため平和町農業改善センターをお借りしました。小人数の活動でしたがスカウトの笑顔を見て、私自身もやる気と感動を体験させて頂き、スカウトと子供のように活動出来て楽しかったです。



ペットボトルで灯籠作り

尾張西地区 一宮第4団 ビーバー隊副長 米川善章

8月22日(土)、ビーバー隊は、夏休み期間中の最後の活動として、はじめて夜の活動を行いました。各自が、事前に準備してきたペットボトルで灯籠を作成しました。手軽に作れるし、想像よりも相当綺麗だったので感動でした。

その後は、花火。スカウト達は楽しいそうでした。たくさん準備したのに、時間がなくなってしまい、余った花火をお土産にして解散しました。



スカウトの日

尾張南地区 蟹江第1団 ビーバー隊副長 小澤絵美

蟹江第1団では、私たちの住む蟹江町をきれいにすべく、9月20日(日)清掃活動を行いました。数年前に比べると道路周辺に捨てられているペットボトルや空き缶は減っているものの、およそ1時間であつという間にゴミ袋は満杯です。

最初の頃は面白がってゴミを拾っていたスカウトも、袋の中のゴミが増えるにつれ「またこんなところに捨ててある(怒)」と町を汚してはいけないと強く感じたようです。

スカウトの日だけでなく、普段の生活の中で「ゴミは持ち帰る」「ゴミの分別を正しくする」を日々実践し、私たちが住む地域・地球を大切にしていきたいと思えます。



絆で繋がるプロジェクト

～アマビエスペシャル～

尾張西地区 一宮第5団 ボーイ隊副長 魚住沙弥果

今年度、団行事を自粛していた当団は、8月半ばに初めて団で集まる機会を作りました。地元デザインのアマビエの塗り絵で各自が灯籠を作り、団ハウス近くの寺院でコロナ禍収束を願いながら点灯。スカウトタウン・サービスでこれまでの生活を振り返りました。スカウト、指導者、団委員、そして保護者や就学前の兄弟を含む総勢50名以上が、ほんの1時間、真摯な姿勢で静かな時間を共に過ごし、各々が人との繋がりに思をはせて未来へ希望を繋げました。距離も気持ちも離れがちな時期だからこそその活動でした。

